

平成18年度京丹後市予算について

『ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち』を将来像として掲げ、平成16年4月1日に誕生した京丹後市の平成18年度予算につきましては、「第1次京丹後市総合計画」や「行財政改革推進計画」に基づく、合併後初めての本格的なまちづくりをすすめるための予算編成となりました。

ご承知のとおり、国・地方とも財政状況は極めて厳しく、国においては「三位一体の改革」、地方においては「行財政改革」を例外なく実施しており、本市につきましても、昨年の10月に「行財政改革推進計画」を策定し、財政健全化指針などの各種指針に基づき行財政のスリム化・簡素効率化を図るため、具体的な取り組みを実施することとされています。

本市の財政状況は、合併準備等に係る地方債残高の増加、基金の減少、市税についても長引く不況により伸び悩み、加えて、平成16年秋に襲来した台風23号による激甚災害による復旧経費を計上したこともあり、極めて厳しい状況は依然として続いております。このような状況の中で、歳出予算では、行財政改革推進計画及びその指針に基づき、平成21年度での基礎的財政規模270億円程度を目指し、平成18年度は歳出決算規模を287億円程度とすることを目標としているため、当初予算では280億円台の前半とするため、各種補助金・物件費の見直しを積極的に実施したのをはじめ、特別職・一般職の人員費を抑制するための改革も実施し、歳出予算の規模縮小に取り組みました。また、歳入では、地方交付税を最大限見込むとともに、財政調整基金などの基金繰入金、市債などを後年度の財政運営を考慮しながらも最大限に計上し、財源を確保しています。

なお、財政状況が厳しい中、市民との協働、市民に開かれた透明性の高い市政を推進し、もって市民の市政に対する理解度を深めていただくことを願い、市民総監視の中での予算編成に資するため、平成17年度当初予算編成時から実施しています予算編成過程の公開、地域要望に対する第1次査定状況を公開し予算措置状況を再度確認していただく取り組みも引き続き実施したところでございます。また、本年度については、補助金の見直し指針に基づく補助金削減も実施する必要がありましたことから、各種団体へご理解とご協力をお願いするとともに、その結果について、地域振興協議会等へも説明させていただいたところでございます。

結果、京丹後市の平成18年度一般会計予算としましては、**284億5,000万円**

※前年度予算比較

289億8,000万円

Δ5億3,000万円（Δ 1.8%）

となり、行革推進型（緊縮型）の予算としています。

京丹後市には、一般会計の他に14種類の特別会計と水道事業、病院事業という2つの企業会計を設置しております。

特別会計の予算総額は、236億9,050万円の前年度227億2,380万円と比べ9億6,670万円、4.3%の増額となりました。これは、介護保険法の改正に伴い介護予防事業等が新規増となった介護保険事業特別会計及び丹後町の宇川・竹野簡易水道の統合事業を実施する簡易水道事業会計で大きく増加したことによるものです。また、企業会計の予算総額は、75億2,225万円の前年度77億4,927万円に比べ2億2,702万円、2.9%の減額となっています。

次に、平成18年度の主な事業内容ですが、『第1次京丹後市総合計画』に基づく6つの基本方針

- I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市**
- II 暮らしの中でいのちが輝く 環境循環都市**
- III 生きる喜びを共有できる 健やか安心都市**
- IV 次代を担う若い力が活躍できる 生涯学習都市**
- V 共に築き、結び合う パートナーシップ都市**
- VI 災害に強く快適で暮らしやすい うるおい安全都市**

を念頭に置きまして、厳しい中でも、社会資本のための投資的事業の実施、産業振興、環境保全、安全都市へのまちづくりなど新しい“夢”のある新規事業にも取り組むことに留意した予算としています。

一般会計での主な事業は次のとおりです。〔凡例：●＝新規、◎＝拡大等、○＝継続〕

【I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市】

<定住の促進>

- 「新・丹後王国発信」事業（新規）【総務費】 1,205 万円
 丹後をより多くの人に知ってもらうため、全国に丹後の魅力を創造・発信していくための事業経費
 - （オープンカレッジ開催経費 97 万円
 （丹後学の講座開設）
 - 新・丹後王国発信事業経費 788 万円
 （DVD 作成、イベント企画等）
 - 丹後ふるさとミュージアム移動展覧設備整備経費 320 万円
 （丹後ブランド品の展覧設備の製作）

<農林業の振興>

- 「新農産物流通体系」構築プロジェクト事業（新規）【農林水産業費】 300 万円
 地産地消をはじめとした新しい地域農産物の流通体系を構築するための分析・調査を実地する。（2 カ年計画の予定）
- 「アグリビジネススクール」事業（新規）【農林水産業費】 80 万円
 生産から流通・販売までの研修・講習の場としてアグリビジネススクールを設置し、経営感覚を持った農業者の育成を図る。
- 「遊休農地」活用事業（新規）【農林水産業費】 50 万円
 遊休農地の有効活用と地域資源を利活用するため、薬草栽培実証圃を設置し、調査・研究を開始する。（モデル事業）
- 「有機農業」奨励補助金（新規）【農林水産業費】 240 万円
 カニガラ、竹炭等を活用した有機農業によるブランド製品化を図る農業者を支援するため資材購入価格の一部を補助する。
- 「農地・水・環境保全」対策支援事業（新規）【農林水産業費】 1,018 万円
 農地・水・環境保全向上対策に資するモデル事業を実施し、効率的な農業生産とともに、花木の植樹も含め、農村地域の資源を活用した地域振興を図る。

- 「竹林整備」事業（新規）【農林水産業費】 90万円
森林の環境保全のため集落等で竹林の伐採・整理を促進させるとともに竹の粉碎肥料としての活用を図る。（補助率 1/3、上限 30 万円）

- ◎「茶生産」特別支援事業（拡大）【農林水産業費】 3,419万円
京丹後市の国営農地での本格的な茶生産実施の支援事業
優良茶園振興事業（茶園新植） 15.7ha
共同製茶等省力化推進事業 茶園管理機、格納庫設置

- 「環境保全型農業普及・実証プロジェクト」事業（継続）【農林水産業費】 285万円
バイオガス発電施設から排出される残渣を有効活用し、減農薬・脱科学肥料による農業生産の実証研究を実施する。

- 「農村振興総合整備」事業（継続）【農林水産業費】 2億5,551万円
大宮町河辺西部地区において農業生産基盤整備（ほ場整備）と生活環境基盤整備を一体的に実施する。（H16～21年度、総事業費7億3,000万円）

- 「農業法人」誘致対策事業（新規）【農林水産業費】 2,016万円
国営農地の有効利用を図るため域外からの農業企業の新規入植に対し支援する。（H18対象予定企業：1企業）

- 「広域農道環境美化」事業（新規）【農林水産業費】 20万円
広域農道周辺的环境美化を図るため「桜で飾ろう王国の道」実行委員会への負担金

- 「獣害等防止」特別対策実験実証事業（新規）【農林水産業費】 120万円
京都府のレンタカウ事業を活用し、獣害予防効果・除草効果を調査する。（モデル集落として3集落を予定、5ヵ月の放牧予定）

<漁業・海業の振興>

- 「海業」推進事業（新規）【農林水産業費】 68万円
海業振興協議会を組織し、海業全体の振興に体制検討を進める。

- 「大型クラゲ」対策事業補助金（新規）【農林水産業費】 200万円
京都府の補助制度創設に合わせ、漁業者の大型クラゲによる被害対策に対して補助金を交付する。

<商工業の振興>

- 「丹後ファッションウィーク」(仮称)創設補助金(新規)【商工費】 500万円
丹後ちりめん生地の洋装化をはじめ多角的な展開を支援するため、丹後からちりめんの高付加価値化した商品の試作品開発・展示会等の取り組みを行い、ちりめん情報を全国に多彩に発信する。
- 「機械金属産業総合振興事業」補助金(新規)【商工費】 500万円
産学連携による機械金属業の新商品開発と他地域との交流促進による販路開拓事業を支援する。

<観光の振興>

- 「観光インフラ整備等促進実行調整費基金」(新規)【商工費】
観光インフラ整備を促進させるため、前年度入湯税相当額を基金に積み立て、観光関係団体等の要望事業の実施を図る。(H18.3月条例案も議会提出)
※H17年度3月補正予算で4,520万円を積み立て予定
- (仮称)「丹後王国観光情報館」整備検討委員会設置経費
(新規)【総務費】 60万円
丹後の情報発信拠点の整備に向け、その実施の可否を含めた検討作業に委員会を設置し着手する。
- 「リフレッシュエリア京丹後」調査研究(新規)【商工費】 629万円
間人・丹後エリアでの薬草に温泉、森林浴、海、食を組み合わせた健康プログラムを京都府と一体的となって研究する。
- 「久美浜湾周辺環境整備」調査経費(新規)【総務費】 200万円
久美浜湾を活用し韓国等との観光交流についての調査・研究を行う。
- 「網野駅観光駐車場」整備事業(新規)【商工費】 339万円
網野駅に旅館送迎車等の駐車スペースを確保し、観光客・観光業者等双方の利便向上を図る。
- 浅茂川温泉「静の里駐車場」整備事業(新規)【商工費】 2,390万円
浅茂川温泉利用者の利便向上と安全性を確保するとともに、集客力の向上を図るため駐車場整備に着手する。

- 「観光サイン」整備事業（継続）【商工費】 1,042 万円
統一ブランドデザインにより市内外の観光サイン(看板)を段階的に更新し、京丹後市の宣伝及び観光客の誘致を図る。(全体事業費 5,000 万円)
- 「丹後周遊ボンネットバス」運行事業（継続）【商工費】 134 万円
あじわいの郷を中心に、市域の観光施設や美しい自然環境等を巡るバスを運行する。(4～9 月、11～12 月の 8 ヶ月で各月 2 回の運行予定)
- 「丹後七姫めぐりパンフレット」作成経費（新規）【商工費】 100 万円
観光客誘致を促進させるため、丹後七姫伝説のパンフレットを作成
小野小町(大宮)、静御前(網野)、間人皇后(丹後)、安寿姫(宮津)、
羽衣天女(峰山)、細川ガラシャ(弥栄)、乙姫(伊根)
- 「恋人の聖地」事業（新規）【商工費】 23 万円
あじわいの郷を「恋人の聖地」（全国で 100 ヶ所）として選定を受けるための経費（あじわいの郷への補助金）

<京丹後ブランドの販売戦略>

- 「丹後の旨いもん地産地消推進協議会」負担金（新規）【商工費】 15 万円
地産地消推進協議会を設立し、地域の農林水産資源を活用した商品開発グループ育成を支援する。(京都府、伊根町と合同、3 ヶ年事業)
- 「丹後ブランドパイロット」事業（継続）【商工費】 682 万円
インターネットを活用し、丹後ブランド（名産品）の販売促進事業を実施する。

【Ⅱ 暮らしの中でいのちが輝く 環境循環都市】

<自然環境の保全と創造>

- 「エコドライブ」普及促進事業（継続）【衛生費】 103 万円
温室効果ガス排出抑制のための「エコドライブ」事業を実施し、地球温暖化防止意識の高揚を図る。

<新しいエネルギーの導入と活用>

- 「風力発電システム」設置経費（継続）【衛生費】 160万円

自然エネルギーの普及対策事業として、小型風力発電施設の設置に対して補助金を交付する。

500W～1000W クラス	3台
1000W～1500W クラス	3台
1500W～3000W クラス	4台

<ごみ・廃棄物対策>

- 「一般廃棄物処理基本計画」策定経費（新規）【衛生費】 600万円

一般廃棄物の処理方針等を明確にした長期計画（10～15年）を策定する。

<循環型社会の構築>

- 「未利用資源生ごみ利活用実証研究」事業（新規）【衛生費】 157万円

市内の生ごみについて、モデル地区を設定しバイオガス発電施設を活用して未利用資源としての利活用方を研究する。

【Ⅲ 生きる喜びを共有できる 健やか安心都市】

<市民主体の健康づくりの推進>

- 「健康増進計画」策定経費（新規）【衛生費】 363万円

地域住民のワークショップ（30名程度）を実施し、住民意見を反映した健康増進計画を策定する。（500部作成予定、概要版は全戸配布）

<医療保険制度の一層の充実>

- 「児童医療給付」経費（継続）【衛生費】 5,151万円

小学生の医療費を無料化とするための医療給付費

<患者本位の医療体制の充実>

- 「市立病院経営改善専門委員」設置経費（新規）【衛生費】 175万円

病院の経営改善のために専門委員（1名）を設置し、経営健全化策について実施・検討する。（H18.1月から設置済）

- ◎「市立病院事業会計」繰出金（拡大）【衛生費】 4億7,000万円
 弥栄病院、久美浜病院への一般会計からの繰出金

<支えあい、助けあいの地域福祉の推進>

- 「地域通貨」導入研究調査経費（新規）【総務費】 30万円
 福祉・環境・まちづくり・助け合いなどの地域力を通貨に換算し、市内で流通させる方策等を調査する。
- 「地域福祉計画」印刷経費（新規）【民生費】 32万円
 社会福祉法に基づく「地域福祉計画」の印刷製本経費

<共に生きる障害者福祉の充実>

- 「共同生活援助(グループホーム)設置改修」補助金（新規）【民生費】 200万円
 障害者のグループホーム設置のための施設改修に対して補助金を交付する。(2件分、補助率1/2、補助金上限100万円)
- 「福祉タクシー」利用料金助成金（継続）【民生費】 485万円
 外出困難な在宅の障害者に対し福祉タクシー利用券を交付し外出支援を行う。(1ヵ月1,000円分の利用券の交付)
- 「障害者計画・障害福祉計画」策定経費（継続）【民生費】 510万円
 障害者自立支援法に規定されている「障害福祉計画」及び障害者基本法に規定されている「障害者計画」を策定するための経費

【IV 次代を担う若い力が活躍できる 生涯学習都市】

<子育ての支援>

- ◎「放課後児童健全育成」事業（拡大）【民生費】 3,808万円
 平成18年度から新たに丹後町・弥栄町域でも実施することとなり、全市域での事業実施となる。
- ◎「児童発達支援パイロット」事業（拡大）【民生費】 23万円
 幼年齢期の健やかな発達を支援するための先進的な研究活動を推進
 ※食育、生活実態把握、CAP（子どもへの暴力防止）の3つのモデル事業を実施

- 「保育所給食調理室空調機設置」経費（新規）【民生費】 900万円
空調機未設置の保育所調理室へ計画的に空調機を設置し、食中毒の発生抑制に努める。（未設置：16保育所）

- 「出産祝金」（継続）【民生費】 550万円
第3子以降の出産で1人につき5万円の祝い金を支給する。

<学校教育の充実>

- 「網野中学校管理棟新築」実施設計経費（新規）【教育費】 1,660万円
老朽化が著しい網野中学校の管理棟を新築するための設計調査経費（H19年度以降 建設着手）

- 義務教育施設「耐震診断」経費（継続）【教育費】 508万円
安心・安全な教育環境を確保するため佐濃小学校（久美浜）の耐震診断を実施する。

- 「中学校スクールバス更新」経費（新規）【教育費】 1,413万円
老朽化している久美浜中学校のスクルーバス(市営バス混乗)を更新

- 「全国高等学校総合文化祭」開催経費補助金（新規）【教育費】 180万円
全国高等学校総合文化祭に伴い、峰山高等学校へ補助金を交付し開催を支援する。（H18.8.5～6開催）

- 「外国語指導助手」招致経費（継続）【教育費】 2,794万円
外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語教育の充実と国際交流の進展を図る。

<社会教育・スポーツの充実>

- 「青少年海外派遣」事業（継続）【教育費】 401万円
市内中学生に海外での生活を体験させ、国際的な視野で活躍できる人材の育成を図る。（訪問予定：中国亳州市、中学生20名参加）

- 「プロ野球名球会ドリームベースボール」開催経費（新規）【教育費】 100万円
宝くじ事業を活用しプロ野球名球会を招待し、ドリームゲーム、野球教室、講演会を開催する。（H18.11.4～5、2日間）

- 「ウエスタンリーグ公式戦」開催経費（継続）【教育費】 400万円
 峰山球場でプロ野球ウエスタンリーグ公式戦を開催する実行委員会へ補助金を交付する。
 ※H18.4.22～23 阪神タイガース vs サークル神戸（峰山球場）

- 「小町ろまん全国短歌大会」開催負担金（継続）【教育費】 150万円
 NHK学園との共催により「小野小町」にちなんだ短歌を募集し全国各地から参加者を迎え大会を開催する。

<歴史文化遺産の保全と活用>

- 「京丹後史文化財博士」育成講座開設経費（新規）【教育費】 3万円
 職員自らが講師を努め「京丹後史文化財博士」の育成講座を開設し、文化財を活かしたまちづくりの推進を図る。

- 「遺跡整備」事業（継続）【教育費】 407万円
 史跡整備検討委員会で史跡整備の基本構想を策定するとともに、赤坂今井墳丘墓の保全工事を実施する。

- 「京丹後市史編さん」経費（継続）【教育費】 639万円
 「京丹後市史編さん」に向け各専門部会で調査・検討を進める経費

- 「小牧源太郎画伯生誕100周年記念展」開催経費（新規）【教育費】 9万円
 小牧源太郎画伯（大宮町出身）の生誕100周年を記念した展覧会を大宮ふれあい工房で開催する。

【V 共に築き、結び合う パートナースhip都市】

<地域コミュニティの強化>

- 「蒲井・旭地域振興」経費（新規）【総務費】 3,000万円
 原発に頼らない新たな蒲井・旭地域の発展・振興のために宿泊施設整備に向けた調査・設計等を実施する。

- 「地域振興交付金」（継続）【総務費】 1億2,259万円
 住みよい地域社会の実現へ向けて、各区へ交付金を交付し自治会活動の活性化を図る。

- 「地域振興基金」積立金（継続）【総務費】 2 億円
市民の連帯及び均衡ある地域振興を図るため、合併特例債を活用し基金を積み立てる。（H18 年度末見込み 8 億円）

<協働と共創のまちづくりの推進>

- 「京都ファイアーバース支援・連携たんご応援団」実行委員会補助金（新規）【総務費】 200 万円
京都ファイアーバースと包括協力協定を結び多分野で地域の活性化を推進する。（協定締結日：H18.2.14）
※H18.8.6 萩本欽一氏率いるゴールデンゴールズとの試合予定

- 「郵便局との連携」経費（新規）【総務費】 308 万円
郵便局で住民票等を発行可能とするための機械借上経費等（市内郵便局 4 ヲ所で実施予定）
※木津（網野）、中浜（丹後）、野間（弥栄）、野中（久美浜）

- ◎「市民協働のまちづくり事業補助金」（拡大）【総務費】 1,800 万円
各市民局に予算を配当し、市民協働のまちづくりの推進と地域活性化を支援する。（H17「特色ある地域づくり補助金」の名称変更）

- 「地域振興協議会」運営事業（継続）【総務費】 271 万円
合併前の旧町域を単位として地域振興協議会を設置し、市民参加の市政運営を実施する。（各地域 18 名、年 6 回開催予定）

<人権の尊重>

- 「市民相談室」事業（継続）【総務費】 143 万円
大宮庁舎 1 階に市民相談員を配置し、相談体制の充実を図る。（月～金、午前 9 時 30 分～午後 4 時）

<男女共同参画の推進>

- 「男女共同参画」推進事業（継続）【民生費】 271 万円
男女共同参画の実現に向け、啓発・相談事業を実施するとともに、『女性センター』の設立に向けた準備も行う。

<国際交流と地域間交流の推進>

○「国際交流」推進事業（継続）【総務費】 877万円

H17年度に引き続き中国亳州市から自治体職員を受け入れるとともに、亳州市へも訪問団を派遣し交流の促進を図る。

●「自治体国際化協会職員派遣」事業（新規）【総務費】 195万円

自治体国際協会が実施する職員派遣事業へ1名を参加させる。
(派遣先：韓国の予定)

<文化芸術活動の振興>

●「文化芸術事業」開催経費（新規）【総務費】 242万円

文化庁等の事業を活用し、市民へ質の高い文化芸術の鑑賞等の機会を提供する。

- ・本物の舞台芸術体験事業（バレエ公演、H18.10.9 丹後文化会館）
- ・宝くじ文化公演（NHK 響楽団アンサンブルコンサート、H18.12.9 丹後文化会館）
- ・公共ホール音楽活性化事業－申請中－（クラシックの演奏家派遣）

○「京丹後文化のまちづくり推進」補助金（継続）【総務費】 270万円

H17年度発足した実行委員会へ補助金を交付し支援する。

- ・クラシックコンサート（H18.7.9、丹後文化会館）
- ・第九合唱（H19年度へのコンサートへ向けた準備）

【VI 災害に強く快適で暮らしやすい うるおい安全都市】

<道路ネットワークの整備>

○道路改良事業（継続）【土木費】 7億9,245万円

道路維持修繕	4,310万円
道路改良	2億2,833万円
辺地対策道路	7,500万円
過疎対策道路	1億3,102万円
地方道路臨時交付金事業	2億6,000万円
交通安全施設等整備事業	5,500万円

●「鳥取豊岡宮津道路アクセス道路」測量経費（新規）【土木費】 750万円

鳥取豊岡宮津道路の(仮)大宮森本ICからのアクセス道路の調査経費

<河川・海岸・港湾の整備>

- 「内水処理」検討経費（新規）【土木費】 800 万円
網野町の福田川及び新庄川流域の浅茂川地区及び下岡地区の内水処理
対策を調査研究する経費

<住宅の供給と安心できる住環境の整備>

- 「斎場建設基本構想」策定経費（新規）【衛生費】 300 万円
庁内でプロジェクトチームを編成するとともに、新斎場の基本構想を
策定し、本格的な建設準備に着手する。（平成 26 年度までに建設予定）
- 「木造住宅耐震診断」経費（新規）【土木費】 56 万円
個人住宅の耐震改修について国の補助制度が創設されたことに伴い、
耐震改修を前提とした個人住宅の耐震診断を行う。
- 市営住宅「火災報知器設置」経費（新規）【土木費】 354 万円
消防法の改正に伴い市営住宅へ火災報知器を段階的に設置する。
（3 カ年計画）
- 「街なみ環境整備」事業（継続）【土木費】 4,026 万円
久美浜一区の伝統的な街なみの保存と道路美装化などの整備を行い、
ゆとりと潤いのある住宅地の形成を図る。

<地域交通の確保>

- ◎「自治会貸与除雪機械」整備事業（拡大）【土木費】 2,250 万円
自治会に除雪機械を貸与し、市域の除雪力向上と狭い道路での除雪に
も対応可能とする。（乗用型 6 台、歩行型 6 台）
- 北近畿タンゴ鉄道「京丹後市民号」運行経費（新規）【総務費】 20 万円
KTR 利用促進事業としてイベント列車「京丹後市民号」を運行
- 「網野駅駐輪場整備」事業（新規）【総務費】 393 万円
網野駅の駐輪場不足を解消するため新たに 60 台分の駐輪場を整備
（既存施設 20 台駐輪可能）

<上下水道の整備>

- 「水道事業会計出資金」（新規）【衛生費】 2億円
網野町域の水不足を解消するための広域給水事業を実施する水道事業会計へ合併特例債を活用して資金支援する。

<防犯・交通安全の推進>

- 「防犯パトロール隊」活動支援経費（新規）【総務費】 40万円
不審者対策として地域で編成する防犯パトロール隊に対してユニフォームを貸与し、連帯感の向上と活発な組織活動となるよう支援する。
※京都府の「子ども安心・安全を守る総合対策事業」との連携を図りながら実施
- 「国民保護計画」策定経費（新規）【総務費】 380万円
国民保護法の規定に基づき、京丹後市の国民保護計画を策定する。

<消防・防災体制の強化>

- 「防災行政無線施設」整備事業（新規）【消防費】 2億7,020万円
防災行政無線未整備地域（大宮、弥栄、久美浜）にデジタル同報系・屋外拡声子局を整備する。
※H19年度までの2カ年事業、総事業費6億220万円
- 「自主防災組織」支援補助金（新規）【消防費】 100万円
災害に強いまちづくりを推進するため自主防災組織の防災資機材整備等に対して補助金を交付し支援する。（補助率1/2、上限8万円）
- 「洪水ハザードマップ」作成経費（新規）【消防費】 447万円
台風23号等の洪水被害を教訓に、洪水による被害を最小限とするためハザードマップを作成し市民へ配布し周知する。（H18.9配布予定）
- 「京都府衛星通信系防災情報システム」負担金（新規）【消防費】 3,794万円
京都府が実地する衛星通信を活用した防災情報システム整備費の京丹後市分の負担金（運用開始：H18.4～）

<地域情報化の推進>

- 「ブロードバンドネットワーク」整備事業（新規）【総務費】 6,500万円
CATVを含めたブロードバンドネットワーク整備のための実施設計及びFM波電波調査を実施する。（運用開始目標：平成20年度）

- 市役所窓口「テレビ電話サービス」(新規)【総務費】 29万円
 市民局職員数の減少に伴い、市民局窓口と本庁部局を結ぶパソコンを利用したテレビ電話を設置し、住民サービスの低下を防ぐ。
 ※CCDカメラ、USB接続ヘッドセット 20個購入

【効率的な行政運営のための】

- 「自治基本条例」制定検討経費(新規)【総務費】 33万円
 市民との協働のまちづくりを推進するため自治基本条例を制定するための検討経費(アドバイザーへの謝礼金等)
- 「株式会社設立準備嘱託員」設置(新規)【総務費】 117万円
 臨時職員等の派遣を中心とした業務を実施する株式会社を設立するため、専門の嘱託員(1名)を設置し具体的検討に着手する。
- 市役所「IP電話システム」改修経費(新規)【総務費】 969万円
 災害時のシステム障害による電話の不通を最小限とするため回線のバックアップ機能を追加する。
- 「わかりやすい予算書」発行経費(継続)【総務費】 62万円
 平成18年度一般会計予算を中心に市民向けへ予算説明するため昨年に引き続き発行(H18.5月発行予定、全戸配布)

特別会計、企業会計におきましては

【介護保険事業特別会計】

- ・ 地域支援事業費（新規） 1 億 4,757 万円
介護保険法の改正に伴い高齢者が要支援、要介護状態になる前からの介護予防の推進や地域包括支援センターでの総合相談支援や包括的・継続的なマネジメント事業等を行う。

【簡易水道事業特別会計】

- ・ 宇川簡易水道施設改良事業 5 億 2,880 万円
- ・ 竹野簡易水道施設改良事業 3 億 2,152 万円
- ・ 甲山共同水管橋設置事業 9,400 万円

【集落排水事業特別会計】

- ・ 佐濃南地区農業集落排水水源循環統合事業 7,190 万円
- ・ 黒部農業集落排水汚泥減量化設備整備事業（試験的導入） 805 万円

【公共下水道事業特別会計】

- ・ 公共下水道処理場建設事業（峰山・網野） 4 億 4,325 万円
（平成 20 年度までの継続）
- ・ 公共下水道管渠布設事業（峰山） 2 億 8,919 万円
- ・ 特定環境公共下水道処理場建設事業（橘、丹後、久美浜） 9,085 万円
- ・ 特定環境公共下水道ポンプ場建設事業（久美浜） 2 億 9,560 万円
- ・ 特定環境公共下水道管渠布設事業（大宮、橘、丹後、久美浜） 6 億 649 万円

【浄化槽整備事業特別会計】

- ・ 久美浜地域の浄化槽整備事業 3,283 万円

【水道事業会計】

- ・ 新町浄水場改良工事（峰山） 3 億円
- ・ 砂方配水池及び丹後網野連絡管布設（網野・丹後） 2 億 1,000 万円

なお、平成 18 年度からは組織機構や職員配置につきましても、昨年度と比べ大きく変更となる予定のため、市民の皆さまにご迷惑をお掛けしないように、きめ細やかな配慮をしてきたいと考えております。